

各位

NEWS RELEASE

2018年3月22日

株式会社アイケイ



メンタルケアと職業訓練で社会復帰を手助け“子ども兵士”や“紛争被害者”を救う【globe基金】

2018年4月よりコンゴ民主共和国の250名の孤児と元子ども兵の教育を支援する

「グローブエデュケーションプログラム」をスタート

2017年11月 世界最貧国のひとつ ブルンジ共和国に「globeハウスⅣ」が完成

商品の製造販売を行う株式会社アイケイ（本社：愛知県名古屋市 代表取締役会長：飯田裕）は、1997年より世界中の子供たちを支援する「globe基金」の活動を支援しています。

そして、2018年4月からコンゴ共和国内の紛争下で暮らす孤児や元子ども兵士たちへ初等教育の機会を提供し、兵士として徴兵されることを予防し、村の将来を担う平和の人材を育成すること目的とした「グローブエデュケーションプログラム」をスタートします。

「globe基金」は、発展途上の子どもたちに学べる場を提供する為に1997年に設立。東南アジアを中心に貧困層の子どもたちへ教育環境を提供する「globeスクール」を8校建設しています。

さらに、2006年からは、アフリカを中心に反政府軍に捕られた子ども兵士の洗脳を解き、メンタルケアを行い、職業訓練をして社会復帰の手助けをする場として「globeハウス」を3棟設立しました。

そして、2017年11月に世界最貧国のひとつと言われるアフリカのブルンジ共和国に「globeハウスⅣ」が完成。現在、約50名の子どもたちが社会復帰の為に支援を受けています。

■250名の孤児と元子ども兵士に教育の機会を提供「グローブエデュケーションプログラム」

2018年4月より、コンゴ共和国内で紛争下で暮らす孤児や元子ども兵士たちへ初等教育の機会を提供し、兵士として徴兵されることを予防し、村の将来を担う平和の人材を育成することを目的とした「グローブエデュケーションプログラム」をスタートします。

コンゴ民主共和国では、紛争の影響で3万人以上にも及ぶ子どもたちがこの紛争に兵士として徴兵され、身体的な傷害を負ったり、戦闘中に受けた心の傷を持ったまま村々へ帰還しています。

同プロジェクトでは、初年度は、250名の孤児と元子ども兵士をコミュニティの中から選定し、初等教育の機会を提供します。また、その間、受け入れ家族の状況を調査し、子ども達への教育の重要性を理解してもらえよう啓発活動を実施します。その上で2年目以降は、生活状況の劣悪な受け入れ家族に対し、グローブハウスⅢにて、収入向上の支援を実施しながら、子ども達が継続して小学校に通えるような生活環境を整えていきます。



■ グローブエデュケーションプログラム事業概要

- ・ 事業名称： グローブエデュケーションプログラム
- ・ 実施期間： 1年間（2018年4月～2019年3月）
- ・ 対象地域： コンゴ民主共和国南キブ州カレヘ行政区カロンゲ区域
- ・ 事業目的： 紛争下で暮らす孤児や元子ども兵たちへ初等教育の機会を提供し、
兵士として徴兵されることを予防し、村の将来を担う平和の人材を育成すること。
- ・ 活動内容： 250名の孤児と元兵士に初等教育の機会を提供

■ globe ハウスⅣについて

2017年11月に世界最貧国のひとつと言われるアフリカのブルンジ共和国に紛争被害者、最貧困層のメンタルケアと社会復帰の手助けする「globeハウスⅣ」が完成しました。

- ・ 完成月： 2017年11月
- ・ 所在地： ブルンジ共和国ムランビヤ県キガンダ群カネグワ村
- ・ 定員： 70～100名
- ・ 対象： 紛争被害者（紛争により親や兄弟、家族を失っている人々、元子ども兵士）
- ・ 施設内容： 同地域では昔から蜂蜜が医薬品や栄養価の高い食品として重宝されてきました。そこで、より生産性の高い養蜂技術を教授して、消費する為の養蜂から、商品化まで出来るようにする技術支援を行います。
また、粘土質の土壌を活かし煉瓦作りや窯業技術支援を行っていきます。



株式会社アイケイは、今後も「globe 基金」の活動を通して、1人でも多くの内戦で傷ついた子どもたちのメンタルケアと社会復帰ができるように支援してまいります。

■ 「globe 基金」募金に関するお問い合わせ先

「globe 基金」お問合せフォーム

URL：<http://www.globe-fund.jp/contact>

■会社概要

株式会社アイケイは、美しく生きる・健康に生きる・楽しく生きる、の3軸をテーマに、長年にかけて蓄積されたビッグデータから、化粧品・生活雑貨・食品等の商品開発を行い、企画・製造・販売・物流までを一貫して行う、マーケティングメーカーです。

- 社名 株式会社アイケイ
- 本社 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 3-26-8 KDX 名古屋駅前ビル 5階
- 東京支社 〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目 7番 3号 京橋三菱ビル 7階
- 代表 代表取締役会長兼 CEO 飯田裕
- 設立 1982年 5月 1日
- 資本金 4億 174万円
- 売上高 152億 73百万円 (2017年 5月期連結)
- 従業員 252名 (2017年 5月期連結)
- ホームページ <http://www.ai-kei.co.jp/>



(証券コード: 2722)



株式会社 アイケイ

プレスリリースに関するお問い合わせ先
担当: 江口

電話: 052-856-3101

E-mail: h-eguchi@ai-kei.co.jp

参考資料

「globe 基金」は、特定の団体の主義主張に同化せず、あくまでも中立、かつ非対立の立場として設立しました。子どもたちに美しい地球を残すため、教育支援を行い、人と地球が共生できる社会づくりを目指しています。

設立から9年間は、貧困層の子どもたちへ教育環境を提供する「globe スクール」を東南アジアを中心に8校建設してきました。2006年から活動内容を平和活動へ転換しました。内戦が続く、ウガンダ共和国とコンゴ民主共和国の2カ国を対象に反政府軍に捕られた子ども兵士の洗脳を解き、メンタルケアを行い、さらに塗装業やミシン業などの職業訓練をして社会復帰の手助けをする「globe ハウス」を3カ所建設しました。そして、基金設立から20年目を迎える昨年、新たに「globe ハウスⅣ」をブルンジ共和国に開設しました。



「globe ハウスⅣ」の対象者は、子ども兵士だけでなく紛争被害者（紛争により親や兄弟、家族を失くしている人々）や最貧困層になります。

ブルンジ共和国は、世界最貧国のひとつと言われ、1990年代の内戦以降の20年間で国の森林面積が40%以上も失われ、気候変動の影響も相まって洪水被害が頻発するような状態で、多くの国民は最低限の生活を強いられています。その為、子ども兵士だけでなく、紛争により親族を失くしている人や最貧困層も対象としました。

2017年に完成した「globe ハウスⅣ」は、今までと違い、施設建設が終わってから受益者を受け入れるのではなく、施設建設の前に受益者を受け入れ、建設の資材（レンガ作り）など窯業技術の職業訓練を先に行っています。また、同地域の子ども、青年たちにも伝統ダンスやスポーツを通じた心理社会支援も行っています。



■ 「globe 基金」が平和活動を行っている理由

「globe 基金」が平和活動へと舵を切ったのは、手を差し伸べなければならない“子ども兵士”たちがいたからです。現在、19カ国で25万人以上の少年少女が強制的に武器をもたされ、兵士として徴用されているといわれています。

特に内戦が激しいコンゴ民主共和国やウガンダ共和国では、反政府軍が小学生くらいの子どものみを拉致して、子ども兵士として内戦の最前線に投入します。反政府軍が子ども兵士を洗脳するために、自分の手で肉親や兄弟、親戚を殺害するよう指示することで、子どもたちは精神が崩壊していきます。

そこで、戦火は逃れたが、精神が崩壊してしまった子どもたちのメンタルヘルスを支える施設として、「globe ハウス」の建設を思い立ちました。

今までウガンダ共和国では、約170名、コンゴ民主共和国では約80名の子ども兵士が社会復帰しました。「globe 基金」は設立以来、理念に賛同いただいた多くの協力者からの寄付と、当社の売上の一部からの寄付で活動を行っています。尚、施設の運営は現地のNPO法人を通じて行っております。



■globe 基金 活動内容

- ① 子ども達に地球環境の現実を正しく伝え、人と地球が共生する大切さと必要性を、広く世界に広めていきます
- ② 環境教育を学べる場として、globe 校を建設していきます
- ③ 世界中の子ども達が、平和な世界に暮らせるような支援を行っていきます
- ④ 活動に必要な資金の募金活動を行います

■globe 募金の実績

- 1998 年度 フィリピン・バギオに「パングロン・マルコス小学校」の修繕と新校舎設
- 1999 年度 フィリピン、セブに「ヒンガトモナン村小学校」の修繕と新校舎設立
- 2000 年度 フィリピン、セブにサンタ・リタ小学校建設プロジェクト
- 2000 年度 ベトナム、バク・ジャン県フオン・ビ・コミュニティに小学校校舎建設
- 2002 年度 ベトナム、クアン・チー県ピン・ザンに小学校校舎建設
- 2003 年度 中国、ユーリンに小学校校舎建設・補修と環境教育プロジェクト
- 2004 年度 中国、陝西省に小学校校舎建設と環境教育プロジェクト
- 2006 年度 インドネシア、シッカ地域に小学校校舎建設
- 2006 年度 「globe ハウスⅠ」ウガンダ共和国に元子ども兵士社会復帰支援プロジェクト
- 2007 年度 「globe ハウスⅡ」ウガンダ共和国に元子ども兵士社会復帰支援プロジェクト
- 2009 年度 「globe ハウスⅢ」コンゴ民主共和国に元子ども兵士社会復帰支援プロジェクト
- 2014 年度 「globe ファーム」コンゴ民主共和国に立ち直った子どもたちの生活基盤を支える
- 2015 年度 「globe ロード」コンゴ民主共和国にグローブファームで作った作物を街に持っていく道
- 2017 年度 「globe ハウスⅣ」ブルンジ共和国に元子ども兵士社会復帰支援プロジェクト



「グローブハウスⅠ」



「グローブハウスⅡ」



「グローブハウスⅢ」